



河北潟の湖面利用ルール

2010年2月7日策定

～貴重な潟の自然を守り、よりよい関係をつくるために～

自然が残る河北潟には、人も生物も集まってきます。まわりに河北潟のような環境はなかなかありません。貴重な自然環境をこれからも残し、人も生物も共存できるように、利用のルールをみんなで考えました。このルールは、利用者が自主的に運用し、河北潟湖面利用協議会において見直し、拡充を図っていくものです。協議会への参加、ルールの運用、普及にご協力ください。



① 年間／エンジンでの走行禁止 11月～3月／湖面での釣り自粛



水域が狭く、湖岸の植生や水鳥への影響が懸念されるエリア。

河北潟西部承水路の北部

② 年間／モーターボート乗り入れ自粛



多様な生物が生息するエリア。

宇ノ気河口付近(東部承水路北)



クリーンセンターより上流にある、乱杭を目印とする。

⑧ 年間／モーターボートの低速走行



橋の下から栈橋の前を通過するまでは、低速で走行すること。橋の下がモーターボートの舟着場になっているが、そこから潟へ出入りする際に、栈橋や岸にいる釣り人に大きな波が打ち寄せるので要注意。(栈橋に釣り人がいる時は、その対岸側を通るなど、配慮する。)

内灘大橋の下から、湖岸の栈橋周辺まで

⑦ 年間／モーターボート乗り入れ自粛



野鳥の繁殖場所、水鳥の避難場所、湖岸に植生帯がひろがる重要なエリア。ボートの爆音や、予測不可能な激しい動きは野鳥への影響が大きい。

野鳥観察会周辺から防潮水門一帯

⑥ 3月～7月15日／ボート出し入れ注意

大宮川河口から舟を出し入れする時は、河口左岸側に寄ること。ボート、釣り人、野鳥観察者等は、岸の近くにとどまらないよう要注意。育雛中の親鳥が巣に戻れず卵が冷えるなど、繁殖を失敗させるおそれがある。

大宮川河口～金腐川河口一帯

⑤ 年間／モーターボート乗り入れ自粛



野鳥の繁殖場所、水鳥の避難場所、湖岸に植生帯がひろがる重要なエリア。ボートの爆音や、予測不可能な激しい動きは野鳥への影響が大きい。

河北潟の南岸・競馬場西の入江

④ 年間／モーターボートの低速走行 12月～2月／湖面での釣り自粛



湖岸に植生帯がひろがる重要なエリア。繁殖場所、越冬場所として、多くの野鳥が生息する。水域の幅が狭いことから、1年を通じて高速で走るモーターボートの利用は難しい。

河北潟東部承水路(湖南大橋より北)

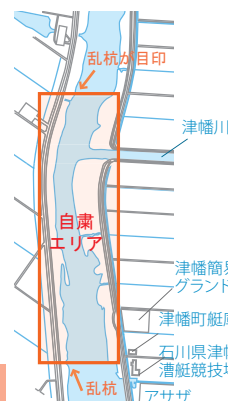


③ 3月～6月／釣り自粛



野鳥の繁殖場所として重要なエリア。釣り人の長時間滞在により、親鳥が巣に戻れず卵が冷えたり、育雛放棄するなど、野鳥の繁殖失敗につながるおそれがある。

津幡漕艇場から津幡川上流200mまで



モーターボートの河北潟全域共通ルール〈1年中〉

- 1) 湖岸近くを高速で走行しないこと。(引き波が湖岸を揺らさない距離を保つ。)
- 2) Uターンはできるだけ沖ですること。

湖面ではゆずりあい、コミュニケーションを大切に。

モーターボートの低速走行／基本的に高速走行するウェイクボート、水上バイク、競艇ボートによる競技・練習の自粛エリアとなります。

釣りの方へ
ボートの方より
.....
岸にいる人に気づかずにボートが走行している時は、岸から手を振ってもらえたら助かります。

モーターボートとは、
ウェイクボート、水上バイク
パスポート、競艇ボートなどを示す。

野鳥のことを ちょっと気にしてみよう

鳥は、飛ぶのにエネルギーがいります。

鳥は、繁殖期（3月～7月頃）、神経質になっています。



左) 草原にすむタカ「チュウヒ」
地上に営巣します。警戒心が強く、繁殖期は縄張り内を監視します。いつもはいない人、いつもと違う事態に敏感に反応し、ストレスで育雛放棄することもあります。ヨシ原の上をグライダーのように飛翔し、ネズミなどを捕まえて食べます



右) 魚を主食にするタカ「ミサゴ」
上空から水面下の魚をねらって、上手に捕まえます。営巣場所は山にあり、繁殖期には山と潟を行き来し、捕まえた魚をヒナに与えるため、山にある巣まで持っていきます。河北潟は重要な餌場となっています。



コガモ／秋に北方から渡ってきます。カモ類は夜行性で日中は羽を休めるため、できるだけ飛びたくないようです。



ミコアイサ／魚やザリガニなどを食べる潜水ガモ。2000年ころより観察される個体や場所が減ってきている。



カイツブリ／水草などを集めて、水辺に巣をつくりまわります。小さなヒナは、大きな波が苦手です。



ツバメ／河北潟で発生する虫を食べます。夜は静かな湖岸のヨシ原で、集団でねぐらをとります。

河北潟湖面利用協議会



詳しくは↑

【参加団体(団体所属の個人参加を含む)】石川県河川課、石川県県央土木総合事務所、石川県県央農林総合事務所、石川県自然環境課、石川県水産課、石川県ボート協会、いしかわ水辺再生研究会、内灘町環境政策課、大浦校下町会、金沢港湾事務所、金沢市環境指導課、金沢市環境政策課、河北潟沿岸土地改良区、河北潟環境対策期成会、河北潟干拓土地改良区、NPO法人河北潟湖沼研究所、河北潟自然再生協議会、河北潟ボートクラブ ア・リバーランズ、かほく市勤労者協議会、グリーン・アース農地・水・環境保全組織、湖南連合町会、津幡の水辺を守る会、津幡町環境安全課、津幡町教育委員会生涯教育課スポーツ係、日本科学者会議石川支部、日本ヘラ釣り研究会金沢支部、日本野鳥の会石川支部、HBFA、北陸ランカースナイパーズ、森本ライオンズクラブ、レクリエーションクラブPiebe's、レクリエーションクラブRageon、静岡県西部モーターボートクラブ北陸支部、日本アマチュアKYOTEI連盟

連絡事務局：河北潟自然再生協議会

メール saisei@nbs.jpn.org

電話 076-288-5803 ファックス 076-255-6941

〒929-0342 石川県河北郡津幡町北中条ナ 9-9

発行／2017年5月15日

デザイン／NPO法人河北潟湖沼研究所